

## がまんする力

京都大学大学院教育学研究科准教授 森 口 佑 介



子どもの発達を研究していると、知人に子どもの  
 どのような能力を育てたらいいのかと聞かれます。子  
 育てに熱心な方ほど、早期教育に対しての悩みも多  
 いようです。そういう質問に対して、私は、がまん  
 する力を育てることが大事だ、と答えます。

ここでのがまんという言葉は、後でいいことがあ  
 る場合に、今したいことをしないことを意味します。

たとえば、お子さんがお腹を空かせていて、目の  
 前にお菓子がある状況を想像してください。お子  
 さんは今すぐ食べたいと思うでしょう。でも、少し  
 待てば、お子さんが大好きなハンバーグが夕食で出  
 てくるとします。今お菓子を食べてしまうとお腹が  
 いっぱいになって、ハンバーグが食べられません。  
 このような状況で、ハンバーグを食べるために、お  
 菓子を食いたい気持ちを抑えることが、がまんする  
 力なのです。

大事なことは、ここでの「がまん」とは、お子さ  
 んが目的をもって自ら進んでがまんする能力だとい  
 うことです。ハンバーグを得るという目的のための  
 がまんです。親や教師の都合で強いられる「我慢」  
 ではありません。

このがまんする力は、幼児期に大きく成長します。  
 そして、重要なことに、このがまんする力が高い子  
 どもは、小学校や中学校で学力が高かったり、友人  
 関係に恵まれたり、大人になったときに健康であつ  
 たり、経済的に恵まれたりすることが明らかになつ  
 ています。一方で、がまんする力が幼児期に十分育  
 たないと、大人になったときに糖尿病になりやすく、  
 経済的に恵まれないのです。

IQのような「頭の良さ」を育てることが大事だ  
 と思われるかもしれませんが。

IQは確かに大事なのですが、子育てや教育によつ  
 てIQを向上させることは容易ではありません。IQ  
 を高めることを謳うスクールでは、IQを一時的に  
 高めることはできても、その効果はすぐになくなつ  
 てしまいます。一方、がまんする力は、比較的子育  
 てや家庭環境によって育みやすいことがわかってき  
 ました。

では、どうすればがまんする力を育むことができ  
 るのでしょうか。

重要なことは、子どもが自分でものごとを解決で  
 きるように親が導くことです。たとえば、お子さん  
 がパズルに挑戦しているとします。そのパズルはお  
 子さんには少し難しいようで、おさんは苦労して  
 います。このような状況に接した親は、2つのタイ  
 プに分かれます。

1つは、親がすぐに正解を教えるタイプです。も  
 う1つのタイプは、お子さんが自分でパズルができ  
 るように、少しだけヒントを出すタイプです。お子  
 さんが今持っているピースに書かれている絵の特徴  
 について言及し、おさん自身に考えさせます。

どちらのタイプがおさんののがまんする力を伸ば  
 すでしょうか。

最近の研究では、少しだけヒントを出すタイプの  
 親のほうが、おさんののがまんする力を伸ばすこと  
 ができると示されています。親の立場からするとす  
 ぐに答えを教えたくくなりますが、このタイプの子育  
 てにはがまんが必要です。つまり、子どものがまん  
 する力を伸ばすには、親にもがまんが必要なのです。

ぜひ、子育ての中で、おさんののがまんする力に  
 注目してみてください。

## 平成 30 年度事業計画案、収支予算案を議決

全日私幼連の団体長会・理事会合同会議が3月13日（火）、東京・私学会館において開催され、58名（定足数63人）が出席しました。

北條泰雅副会長の開会の言葉に続き、香川敬会長があいさつを述べました。

議長に、内野光裕氏（東京）と岡本壯二氏（岡山）が選出され、議事録署名人に、平栗裕治氏（福島）と濱名浩氏（兵庫）を選出しました。

審議案件として、（1）平成29年度補正予算案について田中辰実総務委員長より説明があり、全会一致で可決されました。（2）平成30年度事業計画案について田中総務委員長より説明があり、全会一致で可決されました。（3）平成30年度収支予算案について田中総務委員長より説明があり、全会一致で可決されました。（4）会長及び副会長選任について田中総務委員長より説明があり、賛成多数で可決されました。

次に協議案件として、幼児教育の無償化について「新しい経済政策パッケージへの対応（案）」の説明が、坪井久也政策委員長よりありました。

続いて、報告案件として会務運営報告：総務委員会／平成30年度JK保険、災害見舞金（長野）の支給、委員会の開催について報告がありました。政策委員会／委員会の開催について報告がありました。教育研究委員会／ECEQコーディネーター養成講座まとめの開催と来年度の実施予定について、第9回幼児教育実践学会、研修ハンドブック、3歳未満児プロジェクトについて報告がありました。経営研究委員会／幼稚園ナビ、経営防衛マニュアル、後継者育成研修会について報告がありました。広報委員会／平成30年度賛助会員の申込み、PTAしんぶん3



月号掲載「私の子育て」取材について報告がありました。102条園委員会／平成29年度分青色申告、研修会の開催について報告がありました。認定こども園委員会／委員会の開催、保育士修学資金貸付等制度に関するアンケート調査実施の報告、認定こども園研修会の開催について報告がありました。こどもがまんなかPROJECT／アワード開催、台湾地震への義捐金活動（案）、ランドセル読本配布、立川市の子育て・教育フェアへの参加について報告がありました。政令指定都市特別委員会／第2回政令指定都市特別委員会開催について報告がありました。

次に、（公財）全日私幼研究機構からの報告として、田中雅道（公財）全日私幼研究機構理事長から、キャリアパス研修を始めとした機構の活動状況の報告がありました。

おわりに、澤田豊副会長の言葉で閉会しました。

（総務委員長・田中辰実）

平成30年度 事業計画(案)

本年4月から、改正後の「幼稚園教育要領」や「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が施行されます。幼児教育で育みたい資質・能力「知識及び技能の基礎」、「思考力・判断力・表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」などは年齢に応じた子どもらしい学びや体験を通して身に付くものであり、これまでの幼稚園教育の中で育んできたものであります。私立幼稚園及び認定こども園では、それぞれの機能を生かし、多文化共生時代と言われる今日を生き抜く意志と能力を育み、持続可能な社会の実現を担う子どもたちの育成を目指した取組みが展開されており、今後もさらなる教育・保育の質の向上が求められます。

平成30年度の私立幼稚園関係予算においては、私立学校等経常費補助の幼稚園分が園児一人当たりの単価が1.2%増（地方交付税措置においては、新たに措置された人材確保支援事業分を含め1.8%増）、幼稚園特別支援教育経費が7.8%増、預かり保育推進事業が10.6%増、私立幼稚園の施設整備の充実に係る予算が20%増、認定こども園等への財政支援に係る予算は大幅な増額を確保することができました。

一方で、幼児教育に関する基本法としての幼児教育振興法の早期制定、政府の幼児教育無償化方針への対応、二歳児の受け入れ対応、教職員の確保、幼稚園の持続性を担保できる財政の確立等の課題も山積しています。

こうした状況の中、全日私幼連は、全国の加盟園が望む国及び地方公共団体の施策の実現や予算確保の推進力として国の施策等に深く関与しており、高く評価され、認知されていることを再認識し、我が国における豊かな幼児教育の実現に向けて、国や政府、関係当局への要望活動・折衝を今後も積極的に行っていきます。

以上の認識のもと、本連合会は平成30年度の活動の重点項目を以下のように定めます。

- ・全日私幼連は、全国の私立幼稚園及び私立幼稚園由来の認定こども園のほぼ全ての園からなる組織であり、我が国の幼児教育の振興を目的としてさらなる組織の活性化と活動内容の充実・強化を図り、当面する喫緊の課題並びに中・長期の課題に迅速かつ的確に対応していく。
- ・幼児教育に関する基本法としての幼児教育振興法の早期制定を目指し、国会や政府、関係省庁に要望活動・折衝を積極的に行う。同法施行後は、同法に基づく国の施策について、積極的に要望を行う。
- ・子育て支援を含め質の高い幼稚園教育の恩恵を

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

# 月刊 保育とカリキュラム

毎月2日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表  
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

都道府県内すべての子どもたちと保護者が受けられるよう、人材確保のための公的財政支援を強く求めていく。

- ・ 政府の幼児教育無償化方針に対し、そのあり方を検討し、意見を述べ、要望活動を展開していく。
- ・ 子ども・子育て支援新制度においては、国において、施行後5年を目途とした見直し作業が行われることを念頭に、運営実態を踏まえ、国に対しての改善・要望等を積極的に行う。
- ・ 幼稚園の教育力のさらなる向上に向けて、改定後の幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえ、園の実情に即した教育課程の編成・公開の普及に努め、保護者や地域の信頼に添えていく。
- ・ 乳幼児の教育環境のあり方の研究等、3歳未満児を対象とした事業に積極的に取り組む。
- ・ ノーマライゼーション、インクルージョンの観点から、幼稚園における特別支援教育の充実に努める。
- ・ 「こどもがまんなか」の観点から、ワーク・ライフ・バランスの推進による「家族で過ごす時間」「地域で過ごす時間」の確保を図る施策の充実に努める。
- ・ 自然災害・原発事故などからの復興を目指す地域住民や子どもたちへの支援に努めるとともに、命を大切にする教育の推進に努める。

なお、会務の運営に当たっては、広く会員の意見を踏まえ、開かれた運営に努めるとともに、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構等との連携の強化を図りながら、私立幼稚園の充実・発展を目指し鋭意努力していく所存です。

## = 総務委員会 =

### 【具体的活動内容】

1. 会務の総括に関する事項
2. 予算・決算および会計その他財務全般に関する事項
3. 組織の機能強化に関する事項
4. 各種会議に関する事項
5. 会費、会則等に関する事項
6. 各種公文書に関する事項
7. JK保険の加入促進
8. 表彰に関する事項
9. 震災復興（命を大切にする日の推進）に関する事項
10. 国際交流事業に関する事項
11. 事務局に関する事項
12. 全日私幼連要覧の作成・発行
13. 災害積立金に関する事項
14. (公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構との連携、調整等に関する事項
15. 他の委員会の所管に属さない事項

## = 政策委員会 =

### 【具体的活動内容】

1. 私立幼稚園・認定こども園の振興に関する事項
  - (1) 幼児教育振興法の早期制定に向けた活動に関する事項
  - (2) 公費助成・補助に関する事項
  - (3) 地方自治体（都道府県・市区町村）における諸政策に関する事項
  - (4) ワーク・ライフ・バランス等の少子社会対策の諸政策に関する事項
  - (5) 関係省庁との協議・連絡に関する事項
  - (6) 議員連盟等との協議に関する事項
2. 関係団体、組織に関する事項
  - (1) 全私学連合における諸活動に関する事項
  - (2) 全日本私立幼稚園PTA連合会に関する事項
3. 事業ならびに活動に関する事項

- (1) 政府予算獲得運動（現行制度・新制度）に関する事項
- (2) 「子ども・子育て会議」に関する事項
- (3) 国における審議会等各種委員会の情報収集等に関する事項

**〔当期重点課題〕**

- (1) 幼児教育振興法の早期制定に向けた活動に関する事項
- (2) 政府の進める「幼児教育・保育の無償化」への対応に関する事項
- (3) 幼稚園（認定こども園を除く）における2歳児の受入れに関する事項
- (4) 子ども・子育て支援新制度の問題点の改善に関する事項
- (5) 中央教育審議会の動向に関する事項
- (6) 地方分権推進に対応する都道府県政策担当者会議の企画・実施に関する事項
- (7) 幼稚園の人材確保のための処遇改善に向けての予算確保に関する事項
- (8) 税制に関する事項

**＝ 教育研究委員会 ＝**

**【具体的活動内容】**

教育研究委員会の事業は、（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・研究研修委員会において実施しているため、（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の平成30年度事業計画書に記載。

**＝ 経営研究委員会 ＝**

**【具体的活動内容】**

- 1. 第34回設置者・園長全国研修大会（栃木県）の企画実施に関する事項
- 2. 私立幼稚園・認定こども園の経営実態調査の実施と報告に関する事項
- 3. 子ども・子育て支援新制度に関する事項
- 4. 幼児教育振興法の早期制定に向けた活動に関する事項
- 5. 政府の進める「幼児教育・保育の無償化」への対応に関する事項
- 6. 後継者育成研修会の開催に関する事項

- 7. 人材確保（幼稚園ナビ）に関する事項
- 8. 税制に関する事項
- 9. 学校法人会計基準に関する事項
- 10. 就業規則に関する事項
- 11. その他、経営に関する事案に適宜対応する

**＝ 広報委員会 ＝**

**【具体的活動内容】**

広報委員会の事業は、（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・広報委員会において実施しているため、（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の平成30年度事業計画書に記載。

**＝ 102条園委員会 ＝**

**【具体的活動内容】**

- 1. 子ども・子育て支援新制度に関する事項
- 2. 各市区町村、各都道府県団体との情報交換と補助のあり方に関する事項
- 3. 102条園特有の問題に関する税制等の調査研究に関する事項
- 4. その他、102条園に関する事項

**＝ 認定こども園委員会 ＝**

**【具体的活動内容】**

- 1. 認定こども園に関する情報の収集と発信に関する事項
- 2. 子ども・子育て支援新制度に関する事項
- 3. 幼児教育振興法の制定に向けた活動に関する事項
- 4. 政府の進める「幼児教育・保育の無償化」への対応に関する事項
- 5. 教育研究委員会と連携した3歳未満児への対応に関する事項
- 6. 認定こども園志向園を対象とした研修会1回、認定こども園移行園を対象とした研修会2回（地方開催）の企画・実施に関する事項
- 7. 政策委員会と連携した関係省庁との協議・連絡及び政府予算対策運動に関する事項

## =こどもがまんなかPROJECT企画推進会議=

### 【具体的活動内容】

1. プロジェクト企画推進事業
  - (1) 冊子「絵本ガイドブック」の発行・配布・普及、及び「22世紀の日本が輝き続けるために」の普及について
  - (2) 共生・国際的支援活動（「東日本大震災支援活動」、「国内外の災害緊急支援活動」、「みんなのゆめをつなごう - シードペーパー」の普及、国際貢献活動）
  - (3) 日本文化、地域文化、各国文化の学び・継承（日本の風土に基づいた催事、食文化の学び、親子のコミュニケーションの活性化、世界とこどもを結ぶ活動）
  - (4) こどもがまんなか生活（都道府県の私立幼稚園団体と連携・協力したイベントを開催）
  - (5) 社会への普及啓発活動（マスメディアへの広報活動、サポーターシップ活動、個人や企業の募金、各幼稚園等の募金）
  - (6) 連携・共有（各都道府県の私立幼稚園団体と連携した活動、『私幼時報』『PTAしんぶん』による広報活動）
  - (7) こどもと家族の健康（子どもと家族が健康で快適であるために生活づくりを応援する

情報発信)

- (8) その他
2. プロジェクト普及啓発事業
  - (1) こどもがまんなかPROJECTアワードについて
  - (2) 協賛・後援団体（企業）の募集について
  - (3) 各地区並びに各都道府県私幼団体との協力事業についての検討
  - (4) その他

## =政令指定都市特別委員会=

### 【具体的活動内容】

1. 政令指定都市及び中核市の私立幼稚園、認定こども園の抱える課題の調査・研究
2. 政令指定都市及び中核市の私立幼稚園、認定こども園を対象とした研修会の企画・実施
3. 他委員会等が実施する事業に連携・協力

## 地域で愛される園になるためのサポートブック

### 園のリーダーのために 保育ナビ

管理職向け月刊誌

定価:本体価格926円+税  
B5判 72ページ

### 2018年5月号の主な内容

- 特集1 これからの保育のあり方～倉橋惣三の保育論から新3法令の現場での実践へ～  
昨年12月、弊社主催で行ったシンポジウムからの報告です。日本の保育・幼児教育の礎を築いた倉橋惣三の言葉や思想から保育の本質を改めて捉え直し、登壇者らのお話から、新3法令を現場での実践につなげる方法を探ります。
- 特集2 保育の新と真を探る 洗濯機革命の立役者に学ぶ新たなモノを創り出す極意 かつてパナソニックで大ヒット洗濯機を開発された藪ゆき子さん。秋田喜代美先生（東京大学大学院）が組織イノベーションにまつわるお話等を伺いました。
- 強いチームづくり——リーダーの役割 「方向性を示す」「理念を示す」「職員が力を発揮できる体制をつくる」こと。チーム力向上のために園のリーダーがまず心がけたいことです。



ISBN978-4-577-81434-5 705

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>  
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの **フレール館**

**全日本私立幼稚園連合会**  
**平成30年度・一般会計収支予算書(案)**  
 平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：円)

科 目	平成30年度予算額A	平成29年度予算額B	(A-B)	備 考
<b>事業活動収支の部</b>				
<b>① 事業活動収入の部</b>				
<b>1 基本財産運用収入</b>	15,000	15,000	0	
基本財産運用収入	15,000	15,000	0	基本積立金・大河内・由田利息
<b>2 特定資産運用収入</b>	30,000	30,000	0	
特定資産運用収入	30,000	30,000	0	国際交流・財政運用・退職給付・災害金利息
<b>3 受取会費収入</b>	180,000,000	175,000,000	5,000,000	
一般会費	180,000,000	175,000,000	5,000,000	(会費)12,000円+園児20円×加盟園児数) 加盟園数 399園定こども含む
<b>4 事業収入</b>	22,000,000	22,000,000	0	
研修事業	14,000,000	14,000,000	0	研修会参加費等
保険事務手数料	8,000,000	8,000,000	0	
<b>5 受取補助金等収入</b>	0	0	0	
団体研究助成金	0	0	0	研修福祉会
<b>6 受取寄付金収入</b>	6,000,000	6,000,000	0	
寄付金収入	6,000,000	6,000,000	0	JK保険広告料
<b>7 受取雑収入</b>	830,000	20,830,000	△ 20,000,000	
受取利息	30,000	30,000	0	
その他	800,000	800,000	0	
受託事業収入	0	20,000,000	△ 20,000,000	
<b>8 他会計からの繰入収入</b>	0	5,000,000	△ 5,000,000	
<b>9 財政運用積立預金取崩収入</b>	16,000,000	16,000,000	0	
<b>10 退職給付引当預金取崩収入</b>	500,000	3,579,560	△ 3,079,560	
<b>11 災害積立預金取崩収入</b>	3,000,000	3,000,000	0	
事業活動収入計	228,375,000	251,454,560	△ 23,079,560	
<b>② 事業活動支出の部</b>				
<b>1 事業費支出</b>	181,500,000	218,500,000	△ 37,000,000	
①総務関係事業費	74,150,000	80,250,000	△ 6,100,000	
総会	7,000,000	7,100,000	△ 100,000	会議費・旅費
理事会	9,000,000	12,000,000	△ 3,000,000	会議費・旅費
常任理事会	7,000,000	8,500,000	△ 1,500,000	会議費・旅費
団体会長会	2,500,000	2,500,000	0	会議費・旅費
監事会	500,000	500,000	0	会議費・旅費
総務委員会	3,300,000	3,300,000	0	会議費・旅費
諸会議費	11,500,000	13,000,000	△ 1,500,000	会議費・旅費
全私連	1,100,000	1,100,000	0	分担金・全私学連合
国際交流事業	300,000	300,000	0	OMEF分担金等
全審連	250,000	250,000	0	分担金・全国私立学校審議会連合会
表彰事業	2,800,000	2,800,000	0	勤続表彰
出張費	2,000,000	2,000,000	0	旅費等
渉外費	1,500,000	1,500,000	0	慶弔費等
要覧事業	1,500,000	1,500,000	0	作成費・印刷費
地区活動事業	15,900,000	15,900,000	0	各地区に対する活動金
奨励事業	8,000,000	8,000,000	0	各都道府県に対する奨励金
組織強化費	0	0	0	
②政策関係事業	55,800,000	61,800,000	△ 6,000,000	
政策委員会	2,300,000	2,300,000	0	会議費・旅費
都道府県政策担当者会議	3,500,000	3,000,000	500,000	会場費等
予算対策費	25,000,000	28,500,000	△ 3,500,000	
政策推進費	25,000,000	28,000,000	△ 3,000,000	
③教育研究関係事業	100,000	100,000	0	
教育研究委員会	100,000	100,000	0	会議費・旅費
④経営研究関係事業	18,600,000	44,000,000	△ 25,400,000	
経営研究委員会	5,300,000	30,000,000	△ 24,700,000	会議費・旅費、幼稚園ナビ管理運営費、就業規則
設置者・園長研修会	10,000,000	10,000,000	0	会場費等
後継者育成研修会	1,000,000	1,000,000	0	会場費等
経営実態調査	2,300,000	3,000,000	△ 700,000	調査費・印刷費
⑤広報関係事業	3,300,000	3,300,000	0	
広報委員会	100,000	100,000	0	会議費・旅費
会報等発行事業	3,100,000	3,100,000	0	(公財) 全日私幼研機構への繰入等
インターネット事業	100,000	100,000	0	
⑥102系園関係事業	2,300,000	2,300,000	0	
102系園委員会	1,300,000	1,300,000	0	会議費・旅費
都道府県代表者会議	1,000,000	1,000,000	0	会場費等
⑦認定こども園関係事業	7,800,000	7,300,000	500,000	
認定こども園委員会	2,300,000	2,300,000	0	会議費・旅費
認定こども園研修会	5,500,000	5,000,000	500,000	会場費等
⑧団体教育研究関係事業	16,450,000	16,450,000	0	
地区別教育研究会	16,000,000	16,000,000	0	地区教研大会助成金
全日私幼連負担分	450,000	450,000	0	記念品代
⑨災害費関係事業	3,000,000	3,000,000	0	
災害費	3,000,000	3,000,000	0	見舞金等
<b>2 管理費支出</b>	41,800,000	45,379,560	△ 3,579,560	
給料	23,000,000	23,000,000	0	
退職金	500,000	3,579,560	△ 3,079,560	
福利厚生費	3,700,000	3,700,000	0	
事務所費	2,000,000	2,000,000	0	共益費・水道光熱費等
印刷費	400,000	400,000	0	
消耗品費	2,200,000	2,200,000	0	
賃借料	2,000,000	2,000,000	0	印刷機等リース代
通信費	1,700,000	1,700,000	0	各種通信費・発送費
交通費	500,000	500,000	0	都内交通費等
租税公課費	2,000,000	2,500,000	△ 500,000	事業税・消費税等
支払手数料	300,000	300,000	0	振込手数料等
備品費	500,000	500,000	0	
顧問料	2,500,000	2,500,000	0	弁護士・会計士・社労士
雑費	500,000	500,000	0	
<b>3 他会計への繰出支出</b>	100,000	100,000	0	
こどもがまんなかPROJECTへ繰出支出	100,000	100,000	0	
<b>4 特定預金繰入支出</b>	4,000,000	4,500,000	△ 500,000	
財政運用積立預金繰入支出	3,000,000	3,000,000	0	
退職給付引当預金繰入支出	500,000	1,000,000	△ 500,000	
災害積立預金繰入支出	500,000	500,000	0	
<b>5 予備費支出</b>	975,000	975,000	0	
事業活動支出計	228,375,000	269,454,560	△ 41,079,560	
事業活動収支差額	0	△ 18,000,000	18,000,000	
当期収支差額	0	△ 18,000,000	18,000,000	
前期繰越収支差額	43,819,285	43,819,285	0	
次期繰越収支差額	43,819,285	25,819,285	18,000,000	

※平成29年度予算は第一次補正予算額

# 「幼稚園ナビ」スタートしました!!

- 設置者の皆様へ幼稚園ナビ導入セットを10月中旬にお届けしております。(A4封筒:右図)  
※利用アカウント情報が記載されてますので紛失厳禁です!
- 簡易マニュアルに沿って幼稚園情報の登録と求人募集の登録をお願いします。
- 研修申込みや免許管理など職員の方も普段使い出来るサイトです!



## 幼稚園ナビとは?

幼稚園ナビは、全日本私立幼稚園連合会が開発を進めている教員免許取得者の人材確保を目的とした幼稚園に関する求人・イベント情報・お役立ち情報を掲載した幼稚園に特化した全国版総合情報ナビサイトです。



## 幼稚園ナビの特徴

イベント・求人情報を  
無料掲載! 1

求人情報の  
簡単登録機能! 2

職員の研修・免許  
管理機能搭載! 3

求人票PDFの  
自動作成機能 4

ハローワーク求人と  
自動連携! 5

自園の魅力を学生に  
発信! 6

詳しくはWebサイトをご覧ください

<https://navi.youchien.com/>



お問い合わせ

幼稚園ナビ サポート事務局  
担当: 岩崎

☎ 093-647-7330  
✉ support@navi.youchien.com

## 平成 30 年度事業計画案・収支予算案など決議

### ★ 3. 1 第 13 回理事会

3月1日、(公財)全日私幼研究機構の第13回理事会が東京・私学会館で開催され、理事11人が出席しました。田中雅道理事長が議長となり、議事録署名人には、満場一致をもって亀ヶ谷忠宏理事、加藤篤彦理事が選任されました。

#### ○決議案件

##### 1、平成 30 年度事業計画の承認の件

田中雅道理事長、宮下友美恵研究研修委員長と四ツ釜雅彦調査広報委員長より、平成 30 年度事業計画について説明があり、定款第 7 条第 1 項の規定に基づき一同に諮ったところ、満場一致を持って決議されました。

##### 2、平成 30 年度収支予算の承認の件

坂本洋専務理事より、平成 30 年度収支予算について説明があり、審議の結果、定款第 7 条第 1 項の規定に基づき一同に諮ったところ、満場一致をもって決議されました。

#### ○報告案件

##### 1、理事長からの執行報告について

田中雅道理事長より、平成 30 年度事業計画にもとづきながら、免許状更新講習事業の重要性や研修

ハンドブックが処遇改善のキャリアアップ要件として認定されること、学校評価の意義について述べられ、幼児教育の質の向上を図る提案を常に行っていた旨の報告がありました。また、各部門各種事業において全国の子育て支援になるよう取り組みを邁進させていく報告がありました。

##### 2、第 10 回評議員会の開催について

田中雅道理事長より、3月27日に第10回評議員会が開催される旨の報告がありました。

### ★ 3. 27 第 10 回評議員会

3月27日、(公財)全日私幼研究機構の第10回評議員会が東京・私学会館で開催され、評議員12名が出席しました。

田中雅道理事長のあいさつの後、出席した評議員の互選により、磯哲也評議員を議長に選任、議事録署名人には後藤順子評議員、清川かつ美評議員が選任されました。

#### ○報告案件

報告案件では、「平成 30 年度事業計画の件」「平成 30 年度収支予算の件」について説明が行われ、理事会における審議の概要報告もなされました。

((公財)全日私幼研究機構専務理事・坂本洋)



バス専用機不要！  
スマホで簡単バス運行管理！

「くるんとバス」  
-通園バス位置情報システム-

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットのGPS機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。

株式会社 **チャイルド社** インターネット課  
TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15  
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

いつもNAVI  
「いつもNAVI 動態管理サービスfor送迎バス(くるんとバス)」は、株式会社ゼンリンデータタムの登録商標です。

本財団では、乳幼児期における子どもの豊かな育ちについて研究を深めるとともに幼児教育にかかわる者を支援し、幼児教育の発展並びに家庭・地域における教育力の向上に寄与することを目指して、今年度、以下の事業に取り組みます。

### 1. 幼児教育にかかわる者の資質向上に関する事業

#### (1) 平成30・31年度「教育研究課題」及び研修俯瞰図の周知

平成30・31年度「教育研究課題」及び「保育者としての資質向上研修俯瞰図」の内容について周知を行う。

#### (2) 幼稚園・認定こども園における学校評価の充実に向けた事業の企画・検討

- ・ECEQ（公開保育を活用した幼児教育の質向上システム）の周知
- ・ECEQ コーディネーター養成講座・フォローアップ研修の企画・実施
- ・評価者の育成（認定こども園第三者評価への対応）

#### (3) 免許状更新講習等についての企画・検討

- ・各都道府県・地区において免許状更新講習の実施
- ・受講希望者の増加に対応し、必修領域・選択必修領域の講習を企画・実施する。

修領域の講習を企画・実施する。

#### (4) 「幼児教育実践学会」の実施

平成30年8月17・18日、東京家政大学にて、第9回幼児教育実践学会を実施する。

#### (5) 全国研究研修の推進

##### ①全国研究研修担当者会議の開催

・各都道府県における教育研究担当者のための研修会を実施する。

##### ②地区教育研修大会の実施

・各地区において、地区教育研修大会を実施する。

##### ③地方の教育研修体制のサポート

・各地域における教育研修体制のサポートを行う。

##### ④園長・リーダー研修の実施

・教育のリーダーとしての資質向上のためカリキュラム内容に沿って園長・リーダー研修を実施する。

##### ⑤3歳未満児の発達と保育についての研修会の企画・実施

・各地区（各県）において乳児期の育ちを支える研修の充実や保育者の育成に取り組む。

##### ⑥主幹教諭研修及びミドル・リーダー研修の企画・検討



新しいものを見るたび、触れるたび、

目覚ましく成長する子どもたち。

子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。

育む環境で、子どもたちの明日は変わる。

だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。

好奇心や想像力、勇気や感動。

そして、子ども同士の関わり合い。

子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、

最適な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



・主幹教諭研修及びミドル・リーダー研修について検討し、カリキュラムを作成する。

#### ⑦幼稚園教育要領の改訂に関する研修の推進

・幼稚園教育要領の改訂に関する研修を企画・実施するとともに、各地区（各県）で開催する研修会をサポートする。

#### (6) 「研修ハンドブック」の活用周知

幼稚園・認定こども園における学校評価やキャリア・パスに伴い、各教員の研修履歴等が残せるよう「研修ハンドブック」の周知・活用を図る。

#### (7) 優秀教員表彰者制度の実施

本財団「優秀教員表彰者制度」の施行に伴い、被表彰者の選定を行う。

## 2、幼児教育に関する調査及び研究

#### (1) 乳幼児の育ちを支える家庭教育と地域の教育の支援事業の研究

家庭や地域の教育機能が低下している現状を踏まえ、幼稚園が行う家庭や地域への教育機能支援についての研究を行う。

#### (2) 乳幼児期の教育環境のあり方の研究

幼稚園の環境として砂場に焦点を当て、遊びの中での行動や人間関係、言葉の発達などについて調査し、子どもの育ちの視覚化を行う。

#### (3) 幼児教育実践事例研究

各都道府県、各地区等で研究されている実践事例について、幼児教育実践学会において口頭発表

ならびにポスター発表で研究発表を行い、その内容を私幼時報に掲載する。

#### (4) 幼稚園におけるカリキュラム・マネジメントの研究

幼稚園において適切な教育課程を編成し、実施・評価し改善していく、カリキュラム・マネジメントについての研究を行う。

#### (5) 5歳児が幼稚園にいることを考える

従来からの継続課題「5歳児が幼稚園にいることを考える」についての実践研究にあたっては、幼稚園教育要領の改訂を踏まえ、幼児期の終わりまでに育ててほしい幼児の具体的な姿として捉えながら、幼児教育の在り方や小学校教育との接続について建言できる研究としても取り組む。

#### (6) 幼稚園におけるインクルーシブ教育システムの充実に関する調査研究

「障害者差別解消法」の施行にともない、関係機関と協力して調査研究をすすめ、インクルーシブ教育にむけての啓発や個別の合理的配慮の充実など保育の質の向上に努める。

#### (7) 学校評価

本財団が開発したECEQ（公開保育を活用した幼児教育の質向上のシステム）を推進することで、私立幼稚園における学校評価（自己評価及び学校関係者評価）の充実を図る。また新制度での

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

キャリアパスや免許更新のために  
研修の記録を大切に残しておきましょう！

**監修** 公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

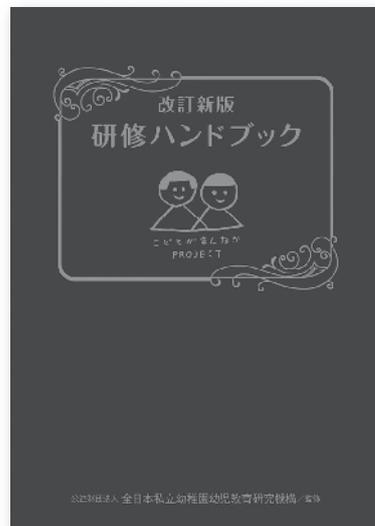
**改訂新版 研修ハンドブック**

4145301 **648円**（本体 600円）

●B6判  
●112ページ

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

**株式会社 世界文化社** ワンダー CS 事業本部  
TEL03-3262-5128



評価に対応して認定こども園における公開保育を活用した第三者評価を実施する。

### 3、家庭・地域における幼児期の教育力向上への支援と広報活動

#### (1) PTAしんぶんの発行

全日本私立幼稚園連合会が、子どものしあわせを願う親と先生のひろばとして発行してきた全日私幼連PTAしんぶんを引き続き発行する。年11回、発行予定。

今後も賛助会員増加に結びつくよう、内容等を検討をする。

#### (2) 賛助会員（園児の保護者等）の加入促進

賛助会員（園児の保護者等）の加入促進に努める。

#### (3) 私幼時報の発行

全日本私立幼稚園連合会が、全国の私立幼稚園設置者・園長を対象に発行してきた私幼時報については、本機構と全日本私立幼稚園連合会との共通の機関誌と位置づけ共同で発行を行っていく。年12回、9千部（1回あたり）発行予定。

#### (4) ホームページを活用した広報活動

ホームページを活用して、幼児教育に携わる者、子育て中の保護者などに向けて、子育ての大切さや尊さを訴えていくとともに、幼児教育にかかわる必要な情報提供の充実を図る。

#### (5) 調査の実施

幼児教育に関する調査を必要に応じて検討・実施し、情報把握ならびに広報啓発活動を行なう。

#### (6) 幼児教育の発展に寄与する絵本の顕彰

幼児教育の発展に寄与する絵本を選定し表彰することについて検討・実施し、広報啓発活動を行なう。

#### (7) こどもがまんなかPROJECT推進のための広報活動

PTAしんぶん、私幼時報またはホームページ等を通じてこどもがまんなかPROJECT推進のための調査広報活動を行なう。

### 4、幼児教育における国際交流等に関する事業

(1) 諸団体等と協力し、私立幼稚園教諭の国際交流、協力について研究を行う。

(2) 我が国における幼児教育の充実発展に寄与するため、文部科学省やOECD等の協力を得て海外における小学校入学前の子どもの教育事情について調査し、その紹介を行う。

### 5、本財団の組織・運営に関する事項

(1) 各都道府県団体との連携強化

(公財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構  
収支予算書  
平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入の部				
1 基本財産等運用収入	( 60,000 )	( 60,000 )	( 0 )	
基本財産運用収入	50,000	50,000	0	
特定資産運用収入	10,000	10,000	0	
2 会費収入	( 76,019,200 )	( 76,030,400 )	( △ 11,200 )	1園 400円×7,548園
正会員会費収入	3,019,200	3,030,400	△ 11,200	
賛助会員会費収入	73,000,000	73,000,000	0	
3 事業収入	( 99,500,000 )	( 86,500,000 )	( 13,000,000 )	
全国研究研修担当者会議収入	5,500,000	5,500,000	0	
教員免許更新講習受講料収入	90,000,000	77,000,000	13,000,000	
調査研究事業収入	2,000,000	2,000,000	0	幼児教育の改善・充実のための実践的調査研究
幼児教育研究実践学会収入	2,000,000	2,000,000	0	参加費4,000円×参加者500人
4 補助金収入	( 40,000,000 )	( 56,000,000 )	( △ 16,000,000 )	
日宝協助成金等収入	40,000,000	40,000,000	0	
地区別研修会助成金収入	0	16,000,000	△ 16,000,000	地区別教育研修会
5 寄付金収入	( 160,000 )	( 160,000 )	( 0 )	
寄付金収入	160,000	160,000	0	
6 雑収入	( 6,520,000 )	( 6,520,000 )	( 0 )	
受取利息収入	20,000	20,000	0	
その他収入	6,500,000	6,500,000	0	私幼時報広告料
事業活動収入計	[ 222,259,200 ]	[ 225,270,400 ]	[ △ 3,011,200 ]	
事業活動支出の部				
1 事業費	( 209,300,000 )	( 217,050,000 )	( △ 7,750,000 )	
資質向上・調査研究事業支出	( 23,000,000 )	( 40,500,000 )	( △ 17,500,000 )	
地区別研修会助成	0	16,000,000	△ 16,000,000	
全国研究研修担当者会議	6,500,000	6,300,000	200,000	
調査研究事業	8,000,000	6,700,000	1,300,000	幼児教育の改善・充実のための実践的調査研究含む
都道府県研修費補助	4,700,000	4,700,000	0	
幼児教育研究実践学会事業	3,500,000	6,500,000	△ 3,000,000	
紀要費・記録事業	300,000	300,000	0	
家庭・地域教育力向上事業費支出	( 60,200,000 )	( 60,300,000 )	( △ 100,000 )	
情報誌発行	59,000,000	59,000,000	0	
家庭教育力向上事業	1,200,000	1,300,000	△ 100,000	H P 保守
国際交流事業費支出	( 1,600,000 )	( 1,700,000 )	( △ 100,000 )	
OECDセミナー	1,200,000	1,200,000	0	
国際交流事業	400,000	500,000	△ 100,000	
私幼時報発行事業支出	( 14,000,000 )	( 14,000,000 )	( 0 )	
教員免許更新講習事業支出	( 70,000,000 )	( 62,000,000 )	( 8,000,000 )	
委員会開催事業費支出	( 8,500,000 )	( 8,500,000 )	( 0 )	
研究研修委員会	5,500,000	5,500,000	0	
調査広報委員会	3,000,000	3,000,000	0	
事業関係人件費支出	( 28,000,000 )	( 29,050,000 )	( △ 1,050,000 )	
事業関係事務費支出	( 4,000,000 )	( 1,000,000 )	( 3,000,000 )	事務所の賃借料及び保証金含む
2 管理費	( 13,100,000 )	( 13,050,000 )	( 50,000 )	
総務費支出	( 5,100,000 )	( 5,100,000 )	( 0 )	
理事会	2,000,000	2,000,000	0	
評議員会	1,800,000	1,800,000	0	
監事会	300,000	300,000	0	
諸会議費	1,000,000	1,000,000	0	正副理事長会等
人件費支出	( 7,000,000 )	( 5,950,000 )	( 1,050,000 )	
事務費支出	( 1,000,000 )	( 2,000,000 )	( △ 1,000,000 )	
事業活動支出計	[ 222,400,000 ]	[ 230,100,000 ]	[ △ 7,700,000 ]	
事業活動収支差額	[ △ 140,800 ]	[ △ 4,829,600 ]	[ 4,688,800 ]	
II 投資活動収支の部				
投資活動収入の部				
投資活動収入計	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	
投資活動支出の部				
1 特定資産繰入支出	( 2,200,000 )	( 1,800,000 )	( 400,000 )	
退職給付引当資産繰入支出	2,200,000	1,800,000	400,000	
投資活動支出計	[ 2,200,000 ]	[ 1,800,000 ]	[ 400,000 ]	
投資活動収支差額	[ △ 2,200,000 ]	[ △ 1,800,000 ]	[ △ 400,000 ]	
III 予備費支出	[ 250,000 ]	[ 250,000 ]	[ 0 ]	
当期収支差額	[ △ 2,590,800 ]	[ △ 6,879,600 ]	[ 4,288,800 ]	
前期繰越収支差額	[ 71,210,049 ]	[ 71,210,049 ]	[ 0 ]	
次期繰越収支差額	[ 68,619,249 ]	[ 64,330,449 ]	[ 4,288,800 ]	

「いいことみつけた」主体的な表現活動と感性の育ち

～子どもと保育者と共に学び合う保育～

草間 妙子 (いずみ幼稚園 教頭) (チームいずみ) 井上晶子 宮尾初子 池田美加 白石妙子

1) 園の概要と歩み

創立53年 建学の精神のもとに私立幼稚園としての幼稚園教育を行っている。

園のモットーは「きょうもたのしいようちえん」子どもたちが毎日「今日はどんな楽しいことがあるかな?」とわくわくしながら登園する幼稚園を



目指している。その中から人として生きていく力や感性を身につけていくことを願い、「親としての育ち」「保育者としての成長」も同じように「たのしいようちえん」生活の中で培われることを願っている。園の指導計画では発達による期他に、自然とかかわる、食育、造形活動や身体表現活動も作成している。



あゆみ...

研修 保育実践の中で目指してきたもの

園庭の砂場づくりから始まり、みんなで創り上げる、教育の質を高める、本物に触れることを大切に取り組んできた。昭和50年頃ビデオカメラを導入し、活動や行事を記録として残してきた。幼児の遊びに着目し環境の見直しについて協議し、自然や地域のかかわりについて深める研究も行う。本物に触れる 感じる体験 のびのびとした表現 感性の育ち 保育者自身の感性を高めるといふ願いのもとに進めてきた。

表現活動の園内研修

とにかく 実践 得意分野を磨き、遊びや活動の内容を高める  
クリエイティブムーブメントを学ぶ

保育内容や自園の理念について理解を深める  
・自ら遊びを工夫したり協同して遊びを作り出す環境  
・子どもと保育者と共に楽しむ  
教育実習生受け入れの中で現場教諭の学び

園独自に研修する機会を設定し、主に表現活動について研修旅行や外部より講師を招いて教材研究  
・教師一人一人が教材研究の重要性を感じる  
・地域とかかわりを大切にし、地域へ出かけ人々に触れる、社会の仕組みに気付く、地域の自然探検など教師も共に子どもたちと発見し感じ、伝え合うことの大切さを学ぶ

幼稚園教諭免許更新制度の研修、経験者研修から、それぞれに学びの方向を探る  
チームいずみ幼稚園として教職員が伝え合うこと支え合うことの大切さを共通理解する

・表現活動の園内研修

クリエイティブムーブメントの研修会に参加し、自園の表現活動に取り入れる。毎年、上越教育大学2年生の実習受け入れの中で、指導案の作成 保育内容の検討 実習記録の指導助言評価を通して、本園の教諭も多くの学びがあり成長することができた。その後も園独自に研修する機会を設定し、主に表現活動についての研修を行い、保育者の質を高める感性を磨くことに力をいれてきた。

2) 子どもたちの感性を引き出す

表現活動の実践と事例

育ちのみとり、共有、支援の在り方を探る表現する喜びを感じる事を大切にして、遊び活動行事がからみあって、一人一人の学びにつながる保育の実践に取り組んできた。

事例 ①

感じる心



- ・身近な自然とかかわり、発見を楽しんだり試したり考えたりする
- ・子どもを肯定的に見とる力を高めていく
- ・日々の姿に子どもの成長を感じ、保護者と共に喜び合う

「わくわくどきどきする瞬間」、子どもたちの興味関心、「身近な自然と関わる」年間指導計画の検討、家庭への伝達や連携などの視点から考えた。地域にある自然にもっと目を向けその恵みを教師も共に感じる、目には見えないものと対話してその感動を伝え合い自然と共に生活していることを喜び合っていきたい、その体験から一人一人の心豊かな生活が広がっていくように、環境や援助の在り方を探っていく。

園の近くにある「スキー発祥の地」金谷山に四季折々探検に出かけている。経験したこと、想像したことを言葉にする、伝える、擬音語・比喩表現・リズム感などの言葉の楽しさおもしろさなど、保育者自身がそれを学び、心にとめておくことによって実際の保育の中にかき添えてくる、子どもたちと共有し心がわくわくどきどきして「うわあー」という思いを感じあつたかくなる、その瞬間を大切にしてきた。

事例 ② イメージの世界を楽しむ



保育者の質を高める園独自の研修で、上越教育大学教授洞谷亜里佐先生の指導のもと、実際に描いたり作ったり感じたりする教材研究をした。

「表現」・・・自分の気に入ったものから感じた「こと」「もの」を自分なりに表すこと。自分が感じた自由なイメージを表現する。先生たち自身が夢中になって活動

し自分を見つめる、自分を知る時間になった。自分の考えや気づき感じたことを実際につくるという作業で表すと、自分にもこんな感性があると気づく、保育者自身の感性を豊かにする。

＊「すてきな自分をつくろう」3歳児

年少組でいろいろな素材を組み合わせて切ったり貼ったりして「自分」を創作した。活動過程では素材のおもしろさに気付いたり、見立てたり、考えたり工夫したりしながら段々変化していく形に面白さを感じたり、夢中になって活動した。しかし保育者の概念、子どもの創造性の受け止めの弱さなどに迷いを感じ、何回も立ち止まって考察していった。経験8年目の保育者であるが、改めて自身の保育を真摯に見つめる活動となった。



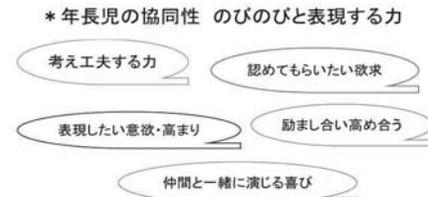
その学びの中では・・・  
 ・もう少し教材研究を深めるべきであった。  
 ・見立てから広がるイメージの世界を楽しむと、もっともっと表現の楽しさがでてくる。  
 ・保育者自身が頭を柔軟にして考えるべきだった。実践の基本に立ち返っていた。柔軟性を問われた部分もあったが、次第に保育者自身が楽しみながら子どもの思いに寄り添っていく場面を何度も感じて、達成感が得られたことをとても喜んでいた。「イメージの世界を楽しみ伝え合う」活動の様子、子どもたちの発見や夢中になって取り組む様子、感じる事が素敵、などスライドショーを作成して、保護者に伝えている。

事例 ③ 創作ミュージカル  
 「ダチョウのエルフと仲間たち」



活動に至った経緯・・・

発表会は、本園では行事としてだけでなく導入から終結まで子どもたちと共に楽しむ活動としている。年少では子どもたちの興味関心を捉えて一緒に音楽を決めてダンスの活動に入っていく。年中・年長では、子どもたちの発想、好きなこと、スピード感などから、いくつかの題材をあげ、自分で内容を選び集まった友達と先生と創り上げていく。発表会後は楽しかったことを振り返りながら、ダンスごっこ遊びに発展していく。一人一人の思いに寄り添いゆとりのある指導計画を立ててきた。保護者にも活動の過程を伝える工夫もしてきた。その中で、こどもたちの興味関心・リズムと保育者自身がやってみたい内容とのバランスが取れなくなってきた時期もあり方向性を探っていたところ、周年行事の園児の発表の機会に園内で協議し、創作ミュージカルに至った。それまでの間、他園を参観し本園に取り入れられるものを探ってきた。



年長組では、図のような姿がかなり強く表れてくることを毎年教職員は感じている。その思いを達成させたい、伸ば

ばしていきたい、異年齢に伝わる感性、年長児へのあこがれなど保育カンファレンスの中で方向が見えてきた。そこで教材研究・・・

どんな題材でから始まって、何回も協議し「ダチョウのエルフ」になった。実際の絵本もあり、本園の年長児に適した内容に創作し手作りの紙芝居で話し合うところから始まった。お話の内容やそこから感じる思いを子どもたちと共有し、活動しながら他児や保育者の表現にふれ、心が動き自分の表現を創りだしていく、そして

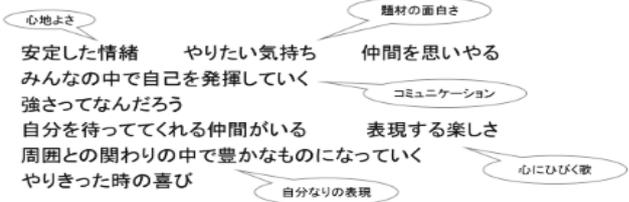


自分なりのイメージが広がり表現が深まっていく、まさに感じる体験が一人一人を成長させてくれた。挿入歌は、まことの保育研修会で出会った「僕がここに生まれて」の歌である。仲間との関わりの中から他児を思いやる心が育ち、互いの表現が影響し合い豊かになっていく、たく



ましく強く、主体的な表現に変化していく・・・活動の過程の中でみえてきた姿である。このミュージカルは、ムーブメントの面白さもあるが、音楽による表現の高まりも湧き出てくるものがある。曲想やテンポ リズム 歌 が、子どもたちの心に響き、揺さぶられるものがあるのだと思う。

この活動を通して・・・



子どもたちの心に響く活動を



近年 気になる子は増えてきているが、チーム保育をしながら全教諭がその子たちのことを考えそれぞれにかかわり、言葉を投げかけたり共にいたりすることで、子どもたちは成長していく。大切にしたいものはなにか伝えたいものはなにかと問いかけながら保育を考えていきたいものである。そこには、不安なことも多いが、保育を任されたものとしてのプロ意識を育んでいくことが大事である。

遊びの中に素朴な表現がある。  
 幼児のあるがままを認め自分なりの表現を大切に。

# 日本私立学校振興・共済事業団からのお知らせ

## 『私学共済事務担当者』を対象にした説明会を開催しています

### 事務担当者連絡会

法律改正による事務手続きの変更など、私学共済制度に関する最新の情報をお知らせし、共済事務を円滑に進めていただくことを目的とした説明会です。

### 事務担当者研修会

日頃の共済事務に役立てていただくため、共済制度の基礎的な内容や各種事務手続き方法などを中心とした講義形式での説明会です。

### 地域事務担当者向け説明会

各ガーデンパレス共済業務課が行っている説明会です。毎年必ず行う事務手続きや質問事項の多い事項など、特定のテーマに絞って説明します（平成29年度は「出産に伴う各種事務手続きについて」などを行いました）。

## 『加入者・年金者』を対象とした説明会を開催しています

### 加入者向け説明会

各ガーデンパレス共済業務課が行っている説明会です。病気やケガをした時の給付や、老後の生活を支える年金を始め、人間ドック利用費用補助や各種補助券など、加入者だけが利用できる「お得」な情報をお届けします。

### 年金説明会

各ガーデンパレス共済業務課が行っている説明会です。「年金っていつからもらえるの?」「いつ手続きすればいいの?」など、基本的な内容から説明します。

## 説明会及び私学共済業務に関するお問い合わせ先

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| ★ 私学事業団共済事業本部      | ☎ 03-3813-5321 |
| ★ 札幌 ガーデンパレス共済業務課  | ☎ 011-222-6234 |
| ★ 仙台 ガーデンパレス共済業務課  | ☎ 022-299-6231 |
| ★ 東京 ガーデンパレス共済業務課  | ☎ 03-3812-2577 |
| ★ 名古屋 ガーデンパレス共済業務課 | ☎ 052-957-1388 |
| ★ 大阪 ガーデンパレス共済業務課  | ☎ 06-6393-9701 |
| ★ 広島 ガーデンパレス共済業務課  | ☎ 082-262-1134 |
| ★ 福岡 ガーデンパレス共済業務課  | ☎ 092-752-0651 |



私学共済ホームページもご活用ください。

<http://www.shigakukyosai.jp/>

私学共済



検索

## 保育の質の向上を願って

昨年度は、新幼稚園教育要領完全実施を見据え、新しい要領・指針の方向性、改訂の趣旨、幼児教育で育みたい資質・能力、幼児教育における見方・考え方、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）、幼小接続、カリキュラム・マネジメント、幼児期における評価など内容の周知・徹底のために県下各地区協会研修会が行われました。

園長から若い先生方まで、それぞれが必要な視点で学ぶことができたことは、本県の幼児教育の質の向上に繋がっていくものと確信しています。

どの園でも、遊びを中心とした生活を通して多様な体験を重ね、主体的・対話的で深い学びを基盤とした一人ひとりに応じた総合的な指導に取り組んでいます。20年、30年後の予測困難な時代に日本の未来を担ってくれる子どもたち一人ひとりに健全で生きる力の基礎を育成することが、私たちの責務であり願いでもあります。

今、全ての先生方は教育のプロとして保育の質を向上させ、良質な教育を子どもたちにしなければなりません。環境構成に配慮し、子どもたち一人ひとりの確かな育ちの姿に目を向け、日々成長していく中に様々な学力の芽を育むために、しっかりと取り組む必要があります。

まずは子ども理解に立ち、学びの心を忘れずに、新しい要領も踏まえた研修に参加し、未来の子どもたちと幼児教育の今後のために、大いに研鑽し資質を高め、私たちができる最高の教育に日々取り組んで欲しいと願っています。

（（一社）長野県私立幼稚園・認定こども園協会  
幼児教育専門員／宮澤真一）

## 沖縄県の子どもたちが置かれる現状

2017年12月13日、小学校の校庭に飛行中の米軍ヘリから窓ガラスが落下した事件は皆様の記憶にも新しいかと思えます。その他、相次ぐヘリコプターの不時着等もあり、今までにも増して県民の意識は基地問題へと向かっています。また2018年は沖縄県知事選挙も想定されており最大の争点は辺野古への新基地建設・移設を巡る基地問題となるでしょう。

そんな中、子どもたちをとりまく環境としての沖縄を見てみると、子ども・子育て支援新制度施行後、他県同様、保育園、小規模保育施設等の整備が進められています。また私立幼稚園においても施設型給付を受ける園、幼保連携型こども園、幼稚園型こども園へと移行する園も増えてきて、さらに加速していく流れです。しかし、待機児童数は2017年末時点で4000名を超え、人口当たりの比率では全国ワーストという現状です。また環境が十分に整っているとは言い難い認可外保育施設の多さ、公立幼稚園と私立幼稚園の利用料の格差、そして就園奨励費においても国基準を満たしていない市町村が多数あり、多くの課題を抱えています。

加えて教諭の確保など更に問題はありますが、沖縄には他県にない魅力がたくさんあります。そして沖私幼加盟園25園にもそれぞれ魅力がたくさんあります。課題だけを見るのではなく、沖縄の魅力を生かし、各園の魅力を生かし、園、保護者、行政が一体となって解決に取り組んでいく必要があると考えています。

沖縄の未来を担うのは子どもたちです。その未来がどういう方向に向かうか、幼児教育に携わる者として責任の重さを痛感しています。

（沖縄県私立幼稚園連合会経営研究委員長、中頭郡・栄光幼稚園／池原基生）

## 編集後記

先日、園の写真を整理した際、五十数年前の白黒写真を見つけました。何もない田んぼの中にはぽつんと建つ2クラスほどの小さな園舎や、入園式でしょうか、20名ほどの集合写真、園庭で元気いっぱい遊ぶ姿などの写真でした。その中の1枚にふと目が留まりました。創立者が山を切り崩した礫だらけの園庭を整備すべく、子どもと一輪車で土砂を運び、一緒に汗を流している写真でした。ニコニコしながらお手伝いする子どもたちを優

く包み込む創立者の眼差しからは、子どもの健やかな育ちのため、理想とする教育を実現するぞという強い意志、未来にかける希望を感じました。

何もなかった創立当時と比べ、社会の変化が激しい現在、複雑な思考からモヤモヤすることが沢山あります。そんなときこそ、子どもをまなかに考え、夢と希望をもち、教育の質向上のために前向きな汗を流すことを改めて確認しました。

(調査広報委員・宮澤公大)

## 平成30年度(第3回) 免許状更新講習の認定一覧

●必修領域「全ての受講者が受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
長野県 松本市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月1日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	西山 薫 (清泉女学院短期大学教授)	6時間	平成30年8月2日	80人	平30-80011-100704号
富山県 富山市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月4日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	加藤 篤彦 (学校法人武蔵野学園理事、武蔵野東第1幼稚園園長、第2幼稚園園長)	6時間	平成30年8月5日	200人	平30-80011-100705号
愛知県 名古屋市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月30日の選択必修講習と連続して行うものです。	上田 敏文 (名古屋市立大学大学院人間文化研究科准教授)	6時間	平成30年8月6日	200人	平30-80011-100706号
神奈川県 大和市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は6月23日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	大浦 賢治 (小田原短期大学保育学科講師) 佐藤 みどり (小田原短期大学保育学科特任教授)	6時間	平成30年6月24日	140人	平30-80011-100707号

(株)学研教育みらい 東京都品川区西五反田2-11-8 幼児教育事業部

お問い合わせは 0120-833-415  
フリーダイヤル

園ぴゅう太のメールサービス

サーバー二重化!  
らくらくメール  
園から保護者へらくらくメール送信! 組別・個別送信、既読確認もできます。サーバー二重化で、いざという時も安心です。

スマホでらくらくバスメール  
スマートフォンでバスメールを送信! 大きなボタン表示で画面操作もらくらく。タップするだけでメール送信できます。

ぜ〜んぶ学研に  
おまかせ!!

心機一転!  
リニューアル

オリジナル!  
キャラクター  
ロゴ

Flashで  
動画!

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新もお電話・FAXで対応します。「お知らせ更新は園で…」というご要望にもシステム併用でご対応いたします。

石川県 金沢市	「国の教育政策や世界の教育の動向」[「教員としての子ども観、教育観等についての省察」]「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」[「子どもの生活の変化を踏まえた課題」]の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月3日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	宮下 友美恵(静岡県立大学短期大学部非常勤講師、常葉学園短期大学非常勤講師)	6時間	平成30年8月2日	150人	平30-80011-100708号
埼玉県 さいたま市	「国の教育政策や世界の教育の動向」[「教員としての子ども観、教育観等についての省察」]「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」[「子どもの生活の変化を踏まえた課題」]の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は6月30日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	福山 多江子(東京成徳短期大学教授) 松本 純子(東京成徳短期大学教授)	6時間	平成30年7月14日	100人	平30-80011-100709号

●選択必修領域「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
長野県 松本市	本講習では、教育要領等をもとに幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所など幼児教育の動向について概観した後、日本における幼児教育の現状、課題を考察する。幼児期とはどのような時期であるかを踏まえ、幼児教育のあり方をとらえていく。事例を取り上げながら幼児に何をどのように育てるべきであるか、方略も含めて検討してみたい。また学力の三要素と幼児教育との関連についても取り上げ、新しい幼児教育の方向性などについても考える。なお、本講習は8月2日開催の必修講習と連続して行うものです。	椋島 香代(文京学院大学人間学部教授)	6時間	平成30年8月1日	80人	平30-80011-301615号
富山県 富山市	本講習は幼稚園教諭が身につけておくべき教育相談に関する理論及びその実践的展開について必要な知識・技能を身につけることを目的としている。深い内面理解に基づく適切な関わりにより、子どもの人格発達の基盤を支援すること、集団適応に困難を示す幼児への関わり、いじめの未然防止の視点を含んだ健全な集団形成のあり方などに加え、保護者支援(育児相談・支援)も視野に入れた講習にしたい。なお、本講習は8月5日開催の必修講習と連続して行うものです。	肥後 功一(島根大学大学院教育学研究科教授)	6時間	平成30年8月4日	200人	平30-80011-301616号
愛知県 名古屋市	愛着と安全基地を見直そう 幼児教育を進める上で家庭との連携は欠かすことができない。育児に関する多様な情報が氾濫する近年、幼児教育への重要な指針の一つとして家庭教育の根本である親子関係について愛着の視点で見直してみたい。なお、本講習は8月6日開催の必修講習と連続して行うものです。	山口 雅史(椋山女子学園大学人間関係学部教授)	6時間	平成30年7月30日	200人	平30-80011-301617号
神奈川県 大和市	望月:幼稚園教育要領領域(表現)と小学校学習指導要領(音楽)を確認し、生きる力を育む一端を担う音楽教育の真の幼小連携を考える。伝承あそびや唱歌の指導内容を分析及び、子どもの発達や年齢に応じた教材作りの実践。 馬見塚:学習指導要領の改訂の動向を踏まえ、絵や文の機能を手掛かりにして、絵本の基本概念を理解する。また、表現の仕組みについて、演習を交えながら考察する。 なお、本講習は6月24日開催の必修講習と連続して行うものです。	望月 たけ美(小田原短期大学保育学科講師) 馬見塚 昭久(小田原短期大学保育学科講師)	6時間	平成30年6月23日	140人	平30-80011-301618号
石川県 金沢市	「学校を巡る近年の状況の変化」[「学校指導要領の改訂の動向等」]について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月2日開催の必修講習と連続して行うものです。	加藤 篤彦(学校法人武蔵野学園理事、武蔵野東第1幼稚園園長、第2幼稚園園長)	6時間	平成30年8月3日	150人	平30-80011-301619号
埼玉県 さいたま市	【学習指導要領の改訂】教育基本法改定以来の幼児教育充実のための施策と、学校教育をめぐる現状と課題を解説した上で、新幼稚園教育要領が目指す「幼児期に育みたい資質・能力」[「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」]等を解説する。【幼児教育の進むべき方向】「幼児期までに育ってほしい姿」が意味することは何か、今後幼児教育はどのような方向で進むべきか、保育者はどのような立ち位置で保育実践に向かうべきかを考える。本講習は7月14日開催の必修講習と連続して行うものです。	神長 美津子(國學院大学教授) 横山 文樹(昭和女子大学教授)	6時間	平成30年6月30日	100人	平30-80011-301620号

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
長野県 長野市	本講習では「義務教育及びその後の教育の基礎を培う」ことについて、改めて認識を深めるとともに、保育内容の展開・発展の基礎となる幼児期の子どもの発達理解について具体的事例を挙げながら考察する。また、遊びを中心とした子どもの生活に大きな役割を果たす保育者自身の自覚性を高める演習を取り入れ、保育者としての一層の資質向上を目指す。	神蔵 幸子(洗足こども短期大学幼児教育保育科教授)	6時間	平成30年6月2日	100人	平30-80011-506472号
長野県 長野市	「気になる子への関わり方と支援について」 本講習では、先生方から「障者とは言えないがグレーゾーンと思われる子どもが増えてきている」との話を聞くようになり、対応の難しさが指摘されている。またこの中には保護者が子どもの状況を受け入れられない場合もあり、より支援の難しさを感じている先生方も多いと考えられる。講習の中で「気になる子」の支援を考えていきたい。また、同時に保護者との連携についても考えたい。	飛田 隆(茨城キリスト教大学准教授)	6時間	平成30年7月7日	100人	平30-80011-506473号

長野県 長野市	本講習では「環境を通して行う教育」の意味を今一度考えたいと思います。幼児の主体性と教師の意図のバランス、遊びを通しての学び等について考察します。環境構成、援助・指導（関わり方や言葉かけ）について教師が自分の保育を振り返り、課題や気づきを得るための機会としたいと考えます。	太田 雅子（聖隷クリストファー大学教授）	6 時間	平成 30 年 10 月 13 日	100 人	平 30-80011-506474 号
福島県 福島市	幼稚園教諭を受講対象者とする。園内研修の再構築及び同僚性を深めることを目的とし、園としての保育の自己点検・自己評価の具体的な方法について理解を深め、園内研修での自己点検・自己評価の具体的な取り組みについて考察し、さらに向僚性を深めていく具体的な方法について実践を通して現状と課題について考察し、より望ましい園内研修のあり方について学ぶ事を目的としている。	高橋 昇（仙台青葉学院短期大学非常勤講師、近畿大学豊岡短期大学通信教育部非常勤講師） 賀門 康博（郡山女子大学短期大学部非常勤講師）	6 時間	平成 30 年 6 月 2 日	60 人	平 30-80011-506475 号
富山県 富山市	「保育現場での質を高める」乳幼児期、自分の声を丁寧に聞き取られ、その声を正当に評価される（扱われる）経験を通して、自分の「心」を育てていく存在である。そんな乳幼児期の「心の発達」に対して、保育実践がどのように向き合うことが大切か、発達段階に対応させながら具体的な実践場面を検討する作業を通し、その視点と原理を明らかにしていく点に、本講習のねらいがある。	加藤 繁美（東京家政大学教授）	6 時間	平成 30 年 6 月 9 日	200 人	平 30-80011-506476 号
富山県 富山市	「学校組織の一員としてのマネージメント・マインドの形成」「保護者・地域社会との連携」「対人関係、日常的コミュニケーションの重要性」等を中心に教員に求められている最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	安達 讓（大阪教育大学非常勤講師）	6 時間	平成 30 年 6 月 23 日	200 人	平 30-80011-506477 号
富山県 富山市	幼児期の子どもの感性と表現の美態や、その背景にある発達の要因について解説する。また、現在の幼稚園教育等に関する制度的背景を確認しながら、幼児の造形表現のための造形環境はどのようにあることが望ましいか議論したり解説したりしたい。	若山 育代（富山福祉短期大学非常勤講師、富山大学人間発達科学部発達教育学科准教授）	6 時間	平成 30 年 7 月 7 日	200 人	平 30-80011-506478 号
佐賀県 佐賀市	平成 30 年の 3 法令の改定により、障害のある子どもの教育・保育の重要性が今まで以上に明らかにされた。このことは、教育・保育の実践の中で、障害のある子どもを含むインクルーシブな方向性が明確に示されたことになる。しかし、乳幼児期の子どもが多様性を受け入れるために保育の現場にはまだまだ多くの課題を持ちながら実践に取り組む現状がある。本講習では、インクルーシブな教育・保育を実現するための基本的かつ実践的な考えや、保護者への対応、園内の連携などを具体的に学び、今後の方向性を検討したい。	若月 芳浩（玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授）	6 時間	平成 30 年 6 月 16 日	80 人	平 30-80011-506479 号
埼玉県 さいたま市	【今こそ保育の見直しを】教員としての子ども観、教育観等についての省察をし、子どもの発達に関する、脳科学、心理学等を通して、今までの保育を見直す。【新教育要領における指導計画の立案と記録と評価】指導計画の立案と記録の取り方そして評価について講義する。特に、幼児期の終わりまでに育ち持つ 10 の姿と今までの 5 領域との関連性について詳しく解説する。	平田 智久（越谷教育専門学校参与） 安見 克夫（東京成徳短期大学教授）	6 時間	平成 30 年 6 月 30 日	100 人	平 30-80011-506480 号
愛知県 名古屋市	幼児の健康理解と運動支援／近年、幼児の不規則な生活習慣が心身の発育・発達に影響を与えることが懸念され、子どもの体力・運動能力の低下の問題は、幼児期からの取り組みが重要であると着目されてきている。本講習では、幼児の生活習慣、体力・運動能力に関わる現状と課題について理論的にアプローチしていく。また、幼児期に豊かな体力・運動能力を育ませるための運動遊びを実践を通して探求していく。	花井 忠征（中部大学現代教育学部教授）	6 時間	平成 30 年 8 月 1 日	200 人	平 30-80011-506481 号
愛知県 名古屋市	幼児期の特性と幼稚園教育の役割／ ①幼稚園教育要領に示されている五領域の意味を考える。 ②幼児の主体的な活動と環境の構成について考える。 ③教師の役割について考える。	齋藤 善郎（椋山女子学園大学教育学部こども発達学科教授）	6 時間	平成 30 年 8 月 2 日	200 人	平 30-80011-506482 号
愛知県 名古屋市	この講習では、障がい児を含めた保育について、障がいの特性の理解、保育上の留意すべき点、保護者への対応、専門機関との連携、小学校との連携、特別支援教育の理解などを中心に学んでいく。	川瀬 正裕（金城学院大学人間科学部教授）	6 時間	平成 30 年 8 月 3 日	200 人	平 30-80011-506483 号
石川県 白山市	幼稚園での遊びの様子や小学校の生活科の単元学習の様子を例にあげながら、活動体験を中核に据えた様々な学びをどのように構想し、援助していくか、さらに振り返りの場をどのように設定するかなどについて具体的に学びます。なお、この講義は、一方的に聴くスタイルではなく、受講者の参加型を基本とします。	松本 謙一（金沢大学人間社会研究域学校教育系教授）	6 時間	平成 30 年 7 月 14 日	150 人	平 30-80011-506484 号
石川県 金沢市	幼稚園での遊びや活動の映像をビデオ・トークして本講座で考えるのは「主体的で対話的な深い学び」。「何を」から「どのように」へと学力の見直しが進む中、幼稚園での子どもの学び方の実際は？と、読み解きます。石川の幼稚園は、自分たちで学ぶ（主体的）、異なる園から学ぶ（対話的）研修スタイルを創り上げてきました。さあ、深い学びへ！保育者の学びの姿が幼稚園の子どもたちの学びのモデルとなります。幼児期の「主体的」「対話的」「深い」を探ります。	大井 佳子（金城大学社会福祉学部社会福祉学科こども専攻教授、北陸学院大学人間総合学部子ども教育学科教授）	6 時間	平成 30 年 8 月 27 日	150 人	平 30-80011-506485 号
石川県 金沢市	保育現場においても家庭教育においても「子供たちが健やかに成長するには、声かけが重要」と言う文言は多く存在する。一方で、どんな声かけをどれだけすればよいのか？具体的に示されていないことも多い。また、保育の現場においては、BGMや口頭指示などの音が加わっていることもある。しかし、余りに多い聴覚的刺激は子どもが自分に必要な情報を取り出すのを妨げる可能性もある。そこで、本講習では子どもの声と聞こえの発達に観点を絞って、適切な保育環境を考えたい。	嶋田 容子（同志社大学非常勤講師）	6 時間	平成 30 年 8 月 28 日	150 人	平 30-80011-506486 号